



ディスカバリー 藤原京・平城京

わたしたちが暮らしている奈良県は、わが国の古代国家が誕生した地で、今から約1300年前、中国の都になって、本格的な都である「藤原京」や「平城京」がつけられました。

まさに、日本の首都が、ここ奈良の地にあったのです。それでは、「藤原京」、「平城京」がなぜつけられたのか。そして、都で暮らす人々はどのような生活を送っていたのか学習してみましょう。



藤原京復元模型 (橿原市教育委員会蔵)



平城京復元模型 (奈良市製作)



2010年(平成22年)には、710年に藤原京から平城京に遷都されてから1300年という大きな節目の年を迎えます。

奈良県では2010年の記念事業の開催に向けて計画を進めています。
平城遷都1300年記念キッズサイト <http://www.pref.nara.jp/1300/kids/index.html>
平城遷都1300年記念事業ホームページ <http://www.pref.nara.jp/1300/top.html>

藤原京の誕生

6世紀末に推古天皇が「飛鳥」（高市郡明日香村の中心部）に「宮」を定め、おいの聖徳太子が摂政として中央集権国家の整備を進めはじめますが、その後1世紀近く「宮」はほとんど「飛鳥」に置かれていました。

「飛鳥」から、大和三山（畝傍山・香具山・耳成山）に囲まれた場所に、中国の都にならった日本初の本格的な都である『藤原京』（橿原市を中心とする）が誕生したのは694年です。藤原京は平城京へ都を移すまでの16年間、今までの天皇の代ごとに都を移すしきたりを改め、持統・文武・元明の三人の天皇が政治を行う、画期的な首都となっていくのです。



「〇〇宮」と「〇〇京」というのはどう違うのですか。

Answer

「宮」というのは、天皇つまり^{おおきみ}大王のすまいする施設のことです。それに対して「京」とは、時代とともに政治のしくみが複雑化していくなかで、「宮」のまわりに貴族・役人・庶民たちの住居や市場・寺院などが計画的に配置された巨大な都市といえるでしょう。



どうして藤原京がつけられたのですか。

Answer

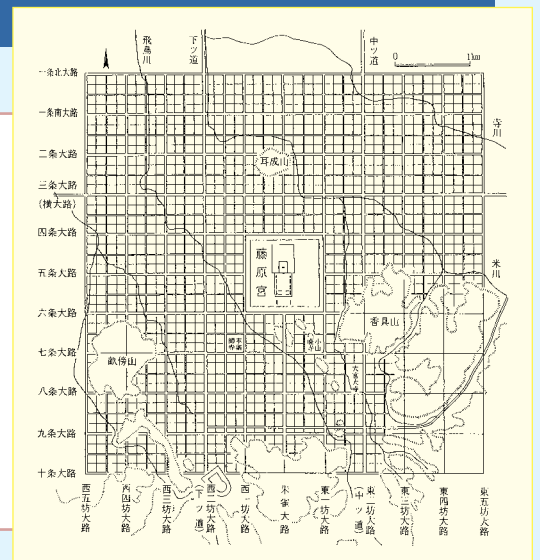
618年に、中国に唐という巨大な国が出現すると、東アジアの国々は、その軍事力の脅威にさらされることになりました。663年には、日本は滅亡寸前にあった朝鮮半島の百済を助けるために大軍を送りましたが、唐・新羅（朝鮮の国）の連合軍に『白村江の戦い』で大敗しました。日本は、新羅から攻められるかもしれないという危機に陥りました。そこで国の防衛を進めるとともに国家体制の整備に取りかかりました。672年に壬申の乱に勝利し、政治的に安定した^{てんむ}天武・^{しとう}持統天皇の時に、中国の制度などを参考にして、新しい国づくりが急ピッチに進められました。



藤原京はどれぐらいの規模だったのですか。

Answer

藤原京は、奈良盆地を東西南北に走る古代の重要な道路であった、中ツ道・下ツ道・横大路・山田道で囲まれた、南北約3.2km、東西約2.1kmの範囲と考えられていました。しかし、最近の発掘調査により、これまでに推定していた範囲の外部から、藤原京のものと思われる道路の跡が多数発見されました。現在では、大和三山を中に含み、次の平城京、平安京をしのぐ広大な都であった可能性が高くなっています。（「大藤原京」説といわれています。）



藤原京復元図(奈良文化財研究所製作)



藤原京ではお金は使われていたのですか。

Answer

3~5万人と推定される（当時の日本の総人口は約400~500万人）人々が生活する、巨大都市藤原京。この人々が生活するためには大量の生活物資が必要でした。そのために、藤原京には、公設の『市』がおかれたようです。『東市』と『西市』があったようですが、確かな場所はわかっていません。売り買いされたのは、食べ物・工芸品・布など様々で、物々交換のほか、貨幣も使われていました。今までは、708年に鑄造された『和同開珎』が日本最古の貨幣だと考えられていましたが、1998年に明日香村飛鳥池遺跡から、「富本銭」とよばれる銅銭が発見され、天武天皇時代の貨幣ではないかと注目を集めています。



富本銭



和同開珎など



藤原京の人々はどんな物を食べていたのですか。

Answer

藤原宮には、税金として諸国から、様々な特産品が運ばれてきました。当時の人々の食事は、1日2食だったようです。食事は下の写真のように、身分によってかなりの違いがありました。貴族の食事は、白米に焼き海老、生ガキ、焼きあわび、デザートに古代のチーズである蘇と、なかなか豪華なメニューでした。それに対して下級役人・庶民の食事は、精米度の悪い米に1汁1菜が原則で非常に質素なものだったようです。特に庶民の食事は栄養のバランスも悪く、量も少なく、常に空腹に耐えていたと考えられます。



貴族の食膳 (奥村彪生製作)



下級役人の食膳



庶民の食膳



藤原京ではどんな人々が働いていたのですか。

Answer

藤原京では約1万人ともいわれる役人が働いていたそうです。勤務時間は、日の出の時間から昼まででしたが、当然残業もあったようです。また、1か月におよそ5日の休みがありました。今でいえば国家公務員である彼らの給料は、品物で支給され、年2回のボーナスも支給されたようです。ただし身分によって収入には違いがあり、1,000倍以上もの開きがありました。



トイレはどのようになっていたのですか。

Answer

3~5万人という大人数が1カ所で生活するのは、歴史上はじめてのことでした。当然、大量のゴミやし尿をどうするのかという大問題に直面したのです。『日本書紀』に続き国がつくった歴史書である『しよくにほんぎ続日本紀』に、706年には「けいじょう京城（都）の内外に多くえしゅう穢臭（悪臭のこと）あり」とあるほど深刻な状況にあったようです。藤原京では、土に穴を掘り、板などを渡して穴にまたがるタイプと道路の側溝から家のトイレに流水を取り入れて流す水洗式のタイプが発見されています。トイレの穴からは、トイレットペーパー代わりに使われた、ちゅう木（クソベラ）も発見されています。



トイレの模型図(大田区立郷土博物館製作)

藤原京から平城京へ

701年、文武天皇は、年の初めの元旦の儀式で「もんむ文物の儀、ここに備れり」（必要な物はすべて備わった）と得意げに宣言します。中国を理想に進められてきた国家体制づくりの大プロジェクトが、藤原京の建設、『大宝律令』の制定により、完成したことを意味していると考えられます。しかし、708年に平城京遷都の詔が出され、710年に遷都（都を移転すること）が実行され、永遠の都であったはずの藤原京は、わずか16年という短期間でその役目を終えてしまいました。

710年の平城京への遷都のときに、藤原京の建物の多くは解体・移転され、役人たちも平城京へ移り住み、藤原京は急速に荒廃しました。



どうして平城京がつけられたのですか。

Answer

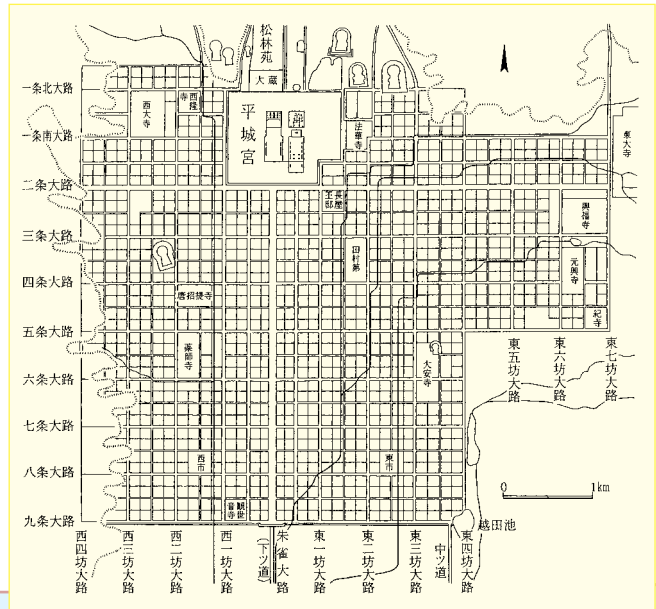
大宝律令に対応するためには、大規模な都が必要であり、東・北・西に山があり、南が開けているという立地条件のよい奈良盆地の北辺の地域が都をつくるにふさわしいとされたのではと考えられています。



平城京はどれぐらいの大きさだったのですか。

Answer

平城京は、唐の都長安にならったもので、中央を南北につらぬく朱雀大路を中心に左京・右京に分かれ、それぞれ方形の条坊に区画されました。朱雀大路の北端に、高さ5mほどの築地大垣で囲まれた、南1.0km、東西1.2km、面積131ha、甲子園球場の約30倍の広さをもつ平城宮が設けられ、天皇の住まいや様々な役所が配置されていました。当時、京内には10万人前後の住民が住んでいたと推定されています。



平城京復元図(奈良文化財研究所製作)



平城京の人々はどのような服装をしていたのですか。

Answer

貴族や役人が平城宮に勤務するときの服は、衣服令という法律で定められていました。唐風で、男は長い上着とズボン、女は上着と長いスカートですが、身分によって衣服の色が分けられていたようです。

庶民の服はほとんどわかっていませんが、古墳時代の人物埴輪に見られる服装とあまり違わなかったようです。無地無着色の麻服で、丈の短い上着とズボンのようなものであったのではないかと思われる。



庶民・下級役人、貴族・上級役人の服(早川和子製作)



平城京の人々は病気になったらどうしたのですか。

Answer

平城京の衛生状態が悪かったことや、さまざまな地域から人々が集まってきたことなどから疾病が何度も流行したようです。特に天平年間の天然痘てんねんとうの流行はすさまじく、庶民だけではなく皇族や貴族の多くが犠牲になりました。薬もあり、治療法も示されたようですが、一般には、まじないに頼る人々が多かったようです。



平城京の人々の遊びは何があったのですか。

Answer

コマ、木製竹トンボ、囲碁、サイコロなどの遊び道具があったようです。サイコロは双六に用いられたようで、身分の上下を問わず双六のバクチが流行し、身を滅ぼす人もあったようで、政府はたびたび禁止令を出しています。また、貴族たちは、相撲を観たり、馬で走りながら矢で的を射るようなことをして楽しんだようです。



遊び道具

まとめ

「藤原京」、「平城京」の人々は、食べ物や水洗トイレの使用など、現代の私たちの生活のものになるような生活を送っていたという、新しい発見もあったのではないのでしょうか。

古代国家発祥の地である奈良県が、「大和は国のまほろば」として知られているのは、藤原京・平城京時代に、わが国の古代国家として政治や経済が栄え、そして文化の礎が築かれていったからだと考えられます。

2010年（平成22年）には、平城京遷都1300年という大きな節目を迎えることとなります。

発掘調査によって、1934年（昭和9年）に藤原宮の位置が明らかにされ、その後、本格的な発掘調査が行われるようになり、大きな成果をあげています。しかし、発掘が済んだところは全体の10%程度です。また、平城宮跡の本格的な発掘調査も1955年から着手されていますが、宮城全体の30%程度しか終わっていません。今後の調査により日本の歴史を大きく塗り替える可能性を秘めています。

わたしたちは、藤原京・平城京をはじめ、数多くの貴重な歴史的文化的文化遺産を有する県で暮らしています。わたしたちは、わが国の社会・生活の原点ともいえる歴史文化遺産について学習し、そのすばらしさを世界に発信するとともに、それらを後世に伝えていく必要があるのではないのでしょうか。

【参考文献】

- 木下正史『藤原京 よみがえる日本最初の都城』2003年 中央公論新社
- 榎原市『よみがえる藤原宮と京—建都1300年にむけて』1991年
- 榎原市『大宝律令1300年 藤原京と大宝律令』2001年
- 榎原市教育委員会『榎原市の文化財』図録 1995年
- 千田稔・金子裕之共編著『飛鳥・藤原京の謎を掘る』2000年 文英堂
- 田中琢編『古都発掘—藤原京と平城京』1996年 岩波書店
- 寺崎保広『藤原京の形成』2002年 山川出版社
- 奈良国立文化財研究所飛鳥藤原京発掘調査部『藤原宮と京』展示案内 1993年
- 奈良国立文化財研究所飛鳥藤原京発掘調査部編『—1300年前の首都—これが藤原京だ』
- 奈良文化財研究所・朝日新聞社事業本部大阪企画事業部『奈良文化財研究所創立50周年記念 飛鳥・藤原京展—古代律令国家の創造—』2002年 朝日新聞社

【写真提供】

- 奈良文化財研究所

奈良県教育委員会事務局学校教育課

TEL 0742-22-1101(内線5257) FAX 0742-23-4312

学校教育課ホームページアドレス http://www.pref.nara.jp/gakko/nyu_index.htm